

作成日 2023年1月31日

修正日 2023年2月9日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 : スポットインドール試薬

会社情報

会社名 : 株式会社スギヤマゲン
住 所 : 〒113-0033 東京都文京区本郷 2-34-9
電話番号 : 03-3814-0285
F A X 番号 : 03-3815-3045
メールアドレス : mail@sugiyama-gen.co.jp

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性 : 爆発物：分類できない
引火性液体：分類できない
自己反応性化学品：分類できない
自然発火性液体：分類できない
自己発熱性化学品：分類できない
水反応可燃性化学品：分類できない
酸化性液体：分類できない
有機過酸化物：分類できない
金属腐食性物質：分類できない（データなし）
鈍性化爆発物：分類できない

環境に対する有害性 : 水生毒性（急性）：分類できない
水生毒性（慢性）：分類できない

健康有害性 : 急性毒性（経口） 区分 4
特定標的臓器毒性（単回ばく露：区分 2(呼吸器系)）
特定標的臓器毒性（反復ばく露：区分 2(呼吸器系、歯)）

絵表示



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 金属腐食のおそれ
 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
 吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ
 呼吸器系の障害のおそれ
 長期にわたる又は反復ばく露による呼吸器系、歯の障害のおそれ
 水生生物に毒性

注意書き

安全対策 : 煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと、吸入を避けること。取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
 他の容器に移し替えないこと。

応急措置 : 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

保管 : 冷暗所（2～8℃）
 耐腐食性/腐食性内張りのある耐腐食性容器に保管すること。

廃棄 : 内容物および容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS RN
			化審法番号	安衛法番号	
p-(ジメチルアミノ)けい皮アルデヒド (DMACA)	0.98	C ₁₁ H ₁₃ NO	(3)-1187	(3)-1187	6203-18-5
塩化水素*	3.61	HCl	1-215	既存化学物質	7647-01-0

(※1mol/L 塩酸中の塩化水素)

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。

- 皮膚に付着した場合 : 直ちに付着部を石鹼と多量の水で十分に洗い流す。
- 眼に入った場合 : 直ちに流水で15分以上目を付けて洗浄する。もしコンタクトを装着していて容易に取り外せるなら取り外す。その後も洗浄を続ける。眼科医の処置を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、コップ1-2杯の水または牛乳を飲ませる。直ちに医師の処置を受ける。医師の指示がない場合には、無理にはかせてはならない。
- 応急措置をする者の保護 : 個人用保護具を着用すること。

5. 災害時の措置

火災時の措置

- 適切な消火剤 : この製品自体は、燃焼しない。
- 使ってはならない消火剤 : 特になし
- 火災危険性 : (塩酸) 加熱されると刺激性の塩化水素ガスを発生する。多くの金属を腐食し、その際に可燃性の水素ガスを発生する。
(DMACA) 熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。
- 消火方法 : 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。
初期の火災には、粉末・二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。大規模火災の際には、泡消火器などを用いて空気を遮断することが有効である。
- 消火を行う者の保護 : 呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- 一般的措置 : 作業の際は適切な保護具を着用し、漏洩した液や飛沫等が皮膚に付着したり、蒸気を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。漏洩した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項

- 環境に対する注意事項 : 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 封じ込め方法 : 漏洩した液はけいそう土などに吸着させて、空容器に回収する。漏洩した場所は水酸化カルシウム、炭酸ナトリウムなどの水溶液を用いて

処理し、多量の水を用いて洗い流す。

二次災害の防止策 : 環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 皮膚に付いたり、蒸気を吸入しないように適切な保護具を着用する。
強酸化剤との接触を避ける。

安全取扱注意事項 : 密閉された装置、機械、または局所排気装置を使用する。
取扱いは換気のよい場所で行なう。アルカリ性物質と接触させない。
使用後は容器を密閉する。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。休憩場所では手袋
その他汚染した保護具を持ち込んではいならない。

保管

安全な保管条件 : 容器は密閉して冷暗所（2～8℃）に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	3 mg/m ³ (塩化水素)、設定されていない (DMACA)
産衛学会 許容濃度	2 ppm (塩化水素)、設定されていない (DMACA)
ACGIH 上限	2 ppm (塩化水素)、設定されていない (DMACA)

設備対策 : 取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気
装置を使用する。

保護具

呼吸用保護具 : 必要に応じて防毒マスク（酸性ガス用）着用する

手の保護具 : 不浸透性保護手袋

眼の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 保護衣(長袖作業衣)、保護長靴、保護服等

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体

色 : 黄色～だいだい色

臭い : 刺激臭

pH : データなし

融点 : データなし

凝固点 : データなし

沸点 : データなし

引火点 : データなし

粒子特性	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 水; 自由に混合。
n-オクタノール/水分配係数 (log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率:	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安全性および反応性

反応性	: 金属酸化物と反応し塩化物を生ずる。過酸化物、重クロム酸塩、過マンガ ン酸塩などにより酸化され塩素を発生する。(塩化水素) データなし (DMACA)
化学的安定性	: 通常条件で安定。
危険有害反応可能性	: アルカリ性物質と接触すると、発熱を伴い激しく反応することがある。多 くの金属を腐食し、その際に可燃性の水素ガスを発生する。(塩化水素)
避けるべき条件	: 日光、熱
混触危険物質	: アルカリ性物質、酸化剤、金属
危険有害な分解生成物	: 塩素、水 (塩化水素) 一酸化炭素(CO)、二酸化炭素(CO ₂)、窒素酸化物(NO _x) (DMACA)

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 区分に該当しない ATEmix=6609mg/kg (塩化水素)
急性毒性 (経皮)	: 区分に該当しない ATEmix>138889mg/kg (塩化水素)
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない((気体) 分類できない (蒸気) 区分に該当しない(粉じん、ミスト) ATEmix=12mg/L (塩化水素)
皮膚腐食性/刺激性	: 区分 1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分 1 (重篤な眼の損傷)

呼吸器感作性	: 区分 1
皮膚感作性	: 区分に該当しない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 区分に該当しない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分 2(呼吸器系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分 2(呼吸器系、歯)
誤えん有害性	: 分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性	: 水生環境有害性 短期 (急性)・・・区分 2 (水生生物に毒性) 水生環境有害性 長期 (慢性)・・・区分に該当しない
残留性・分解性	: 利用可能な情報はない
生体蓄積性	: 利用可能な情報はない
土壌中の移動性	: 利用可能な情報はない
オゾン層への有害性	: 分類できない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。 中和法 (塩化水素) : 徐々に石灰乳などの攪拌溶液に加え中和させた後、多量の水で希釈して処理する。または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。
汚染容器及び包装	: 廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制

<塩酸>

海上輸送(IMDG)

国連番号 (IMDG)	: 1789
正式品名 (IMDG)	: HYDROCHLORIC ACID
容器等級 (IMDG)	: II
輸送危険物分類 (IMDG)	: 8

航空輸送(IATA)

国連番号 (IMDG)	: 1789
正式品名 (IMDG)	: Hydrochloric acid
容器等級 (IMDG)	: II

輸送危険物分類 (IMDG) : 8
海洋汚染物質 : 非該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

汚染物質カテゴリー : Z

<DMACA>

海上輸送(IMDG) 規制されていない。

国連番号 (IMDG) : ー

正式品名 (IMDG) :

容器等級 (IMDG) :

輸送危険物分類 (IMDG) :

MARPOL73/78 や IBC コードに則ったバルクの輸送 : 利用可能な情報はない

航空輸送(IATA) 規制されていない。

国連番号 (IMDG) : ー

正式品名 (IMDG) :

容器等級 (IMDG) :

輸送危険物分類 (IMDG) :

環境有害物質 : 非該当

国内規制

<塩酸>

陸上規制 : 消防法、毒物及び劇物取締法、道路法の規定に従う。

海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報 : 航空法の規定に従う。

その他の情報 : 補足情報なし

緊急時応急措置指針番号 : 157

<DMACA>

陸上規制 : 規制されていない。

海上規制情報 : 規制されていない。

航空規制情報 : 規制されていない。

その他の情報 : 補足情報なし

海洋汚染物質 : 非該当

15. 適用法令

国内法令

労働安全衛生法 : 特定化学物質第3類物質（特定化学物質障害予防規則第2条第1項第6号）名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9）名称等を通知す

べき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9） 塩化水素（政令番号：98）

毒物及び劇物取締法	：	非該当
大気汚染防止法	：	特定物質（法第17条第1項、施行令第10条）
海洋汚染防止法	：	有害液体物質（Z類物質）（施行令別表第1）
船舶安全法	：	腐食性物質（危規則第2，3条危険物告示別表第1）
航空法	：	腐食性物質（施行規則第194条危険物告示別表第1）
港則法	：	その他の危険物・腐食性物質（法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表）
消防法	：	非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	：	非該当

16. その他の情報

参考文献 ； 化学大辞典 共立出版社（1963）. 危険物ハンドブック、ギュンター・ホンメル編 シュプリング・フェアラク東京（1991）. 毒劇物基準関係通知集改訂増補版 毒物劇物関係法令研究会監修 薬務公報社（2000）. NITE 化学物質総合情報提供システム（NITE-CHRIP）、独立行政法人製品評価技術基盤機構.

当該安全データシート 2023-2-9

の最新修訂日付

SDS 版 改訂 1

*この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意して下さい。なお、注意事項は通常の実施を前提としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。また、含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。この安全データシート(SDS)は、JIS Z7253に基づいて作成しております。